

命を救うために 勇気を持って



9月9日(木)は救急の日、9月5日(日)～11日(土)は救急医療週間です。皆さんも、いざというときの対処法を理解し、一人でも多くの命を救えるようにしましょう。

心肺蘇生法を教わる

命を救うために 迅速な応急手当を

大切な人が突然、目の前で倒れたとき、あなたは何ができますか。傷病者に何も応急手当がなされなかった場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。本市では救急車の到着までに平均約9分かかっています。震災や大規模災害が発生した時は、さらに時間がかかる可能性があります。

救急車が到着する前に、現場でどれだけ早く応急手当を行えるかが、傷病者の救命や今後の人生を大きく左右します。

心肺蘇生法を 身に付けよう

傷病者の命を救い、社会復帰に導くための一連の行動を「救命の連鎖」といいます。

救命の連鎖は「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「一次救命処置」「二次救命処置と心拍再開後の集中治療」の4つの行動から成り立っていて、これらが途切れることなく、素早くつながることと救命効果が高まります。救命の連鎖の最初の3つは、現場に居合わせた人が行うことが期待され

ます。

心臓や呼吸が止まってしまった人への治療は1分1秒を争います。救急隊が到着するまでの間、何もせずに待つよりも、その場に居合わせた人が心肺蘇生を行い、さらにAEDを使用して電気ショックを行ったほうが生存率や社会復帰率が高いことがわかっています。市では、新型コロナウイルスの感染拡大により当面の間、全ての応急手当講習会を中止しています。今後の再開については、広報なりたや市ホームページでお知らせします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえた心肺蘇生法の手順については、市ホームページ(https://www.city.narita.chiba.jp/anshin/page0156_00022.html)で紹介しています。この機会に手順を確認しましょう。

救急車の適正利用に ご協力を

令和2年の救急車の出動件数は5,919件。このうち救急搬送した5,194人の約半数は、入院の必要がない軽症でした。

緊急性がない状況で救急車が要請された場合、本当に必要とする傷病者の元へ遠くの消防署から救



緊急時に素早く駆け付ける

急車が出動することになり、到着が遅れて救えるはずの命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく自分で病院に行ける場合には、救急車を本当に必要としている人のために、自家用車や公共交通機関などを利用してください。病状やけがの状況から、急いで病院へ連れて行った方が良いと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。その際、次のことを、慌てず、落ち着いて、はっきりと伝えてください。

- 住所(市区町村名から)
 - 年齢・性別
 - けがや病気、意識の有無
 - 持病・かかりつけ医療機関
 - 通報者の氏名・電話番号
- ※くわしくは警防課(☎20・1592)へ。